

国鉄「分割・民営化」反対！三里塚二期工事阻止！

# 動労千葉150名で登場！



反対同盟・事務局長

北原 鉱治氏

いまから十年前、福田内閣は、三月三十日強行開港宣言をうちだした。福田は、「多少の犠牲はかまわない」という方針で、農民を虫ヶラのように踏みにじり、機動隊の力をもつて開港を強行しようとした。

しかし、空港内外の創意工夫ある闘いが展開され全人民の勝利として大輪の花が咲いたのです。

国家的威信をかけた開港はみごと粉碎され「國家権力おそるにたりぬ」という確信をますます高くて、闘い続けています。三里塚闘争は今新たに



芝山町議会議員

鈴木 幸司氏

一月の芝山選挙においては大変ありがとうございました。この選挙にあたって、運輸相・石原、芝山町長・真行寺らは「反対同盟にだまされるな」と誹謗・中傷してきた。

しかし、町民は、反対同盟のたたかいがけつして私利私欲に走った闘いではないということを、ハッキリさせました。あるお婆さんが「二度と戦争をおこさないためにもこの空港を阻止してください」と言つておられました。

多くの人が私達のたたかいを応援しているということは忘れてはならない。最後の最後まで共にたたかいましょう。

三・二七三里塚現地集会は、全国から一万三百五十名が結集し、「九〇年二期概成」計画粉碎にむけて、人民総決起による一大実力闘争を展開することを宣言した。

現地の臨戦体制を強化し、八八年二期決戦をたたかいぬいて反対同盟に連帯して闘おう！三・二七勝利をひきつき、四・九国鉄労働者集会への成功をかちとろう！

な段階に入っています。二二一年間の執念と怨念によつて必ず勝利します。五・一二全国闘争に総決起してほしい。

日刊  
動労千葉

1988.3.29

N2786

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
(鉄電)二九三五六・(公衆)〇四七二(22)七二〇七

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！